



第93号 2014年9月5日 発行 島田療育センター支援部生活支援室ピコピコルーム
<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/piko/index.html>

マジカルトイボックスに参加しました！

7月19日(土)に第38回マジカルトイボックスが国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。ピコピコルームからは、スタッフ4名が参加しました。今回のマジカルトイボックスのテーマは、『シンボルやタブレットを活用したコミュニケーション支援』でした。午前はAACセミナー、午後は一般展示・実演に参加しました。

○AACセミナー

青木高光氏(長野県稲荷山養護学校 教諭)による講演会に参加しました。Droplet Project 代表として、シンボルやタブレット端末を活用した実践など、具体的な事例を紹介していただきました。実際の教育現場にて、どのように AAC が活用されているのか、さらに、実際に活用していく際に考慮すべきことは何なのか？など、とても興味深く考えさせられ、とても貴重な時間となりました。



○一般展示・実演

マジカルトイボックスオリジナルのスイッチや支援機器、改造おもちゃの紹介や、各団体や企業による展示を行いました。ピコピコルームは、企業などによる機器展示の中でも数少ない、実際の現場での AAC 機器の活用についての紹介をさせていただきました。

今回、ピコピコルームのブースでは、ドラえもんラジコン、iPad アプリ、Apple TV、iPad Toucher を中心とした展示を行いました。また、前年度に引き続き、iPad やドラえもんラジコンを用いた、リハビリ訓練、病棟活動の様子を紹介した資料も用意しました。

今回も、各企業の方、一般の方ともに沢山の皆様が見学してくださいました。iPad をはじめとする AAC 機器を実際の利用者様との活動にどのように活用しているのかを知りたいと感じておられる方が沢山いらっしゃると、改めて実感しました。「こんな使い方もできるんですね」と驚かれる方も多く、島田での活動が、AAC 活用のヒントとなることが出来たのではないかと感じ、大変貴重な機会となりました。配布資料は前年度より多めに用意したのですが、今年は早い段階でなくなってしまうなど好評で、島田での活動をより多くの方々に発信出来たと実感しました。



また、アプリ開発者の方や、企業の方々とも情報交換もでき、大変貴重な交流もすることができました。さらに、ユニークなコミュニケーション機器、スイッチ、玩具なども見学、体験することができ、今後の臨床でのヒントとなる情報を沢山得ることができました。今回得た知識をスタッフの中でも共有し、より積極的な AAC 活用につなげていけたらと感じました。(ST 黒柳)



ピコピコルーム見学対応

8月の初旬、ピコピコルームの見学者の対応をしました。ピコピコルームの機器をひと通り説明し、その後は自由に体験できる時間に。ワンクリックゲーム、スイッチ、VOCA、iPad、ラジコンなどピコピコルームで活用している機器を実際に試してもらいました。見学終了後、皆さんから感想をいただいたので、少し紹介します。



“力がなくても自分の動かせる機能を使いながらおもちゃやゲームを楽しむことは一人ひとりのできることを増やすことにとっても役立つのだと感じました。そして、ドラえもんラジコンはインパクトが強く、見ているだけでも面白かったので、病棟の中でも人気者として活躍しているのかもしれないと感じました。”

重い障害を持った方も、自分の意志で動かせる部位を使ってスイッチ等 operatesし、できることを増やしていこうというのがピコピコルームの根底にあります。スイッチひとつで目の前を動き回るドラえもんラジコンは、病棟活動で活躍しています。

“今回ピコピコルームを見学して、電子機器用のスイッチ製作やそのための改造に対する心理的なハードルが解消できました。また、部品さえあればどの媒体を利用してスイッチを作るか、何をつなげるかは発想次第で大きな自由度があることも実感しました。”

改造マウスや押しボタン型のスイッチなどは実は非常にシンプルな構造ですので、簡単な電子工作ができれば自作することもできます。スイッチの先につなぐのはおもちゃ、マウス、VOCA など発想次第でいろんな可能性がありますね。

ここでは紹介しきれませんが、皆さんそれぞれ感じたことをたくさん書いてくださいました。多くの方にピコピコルームの活動を知ってもらえれば幸いです。(神田)

タッチトレイン 3D の紹介



人気のアプリ『タッチトレイン 3D』(iOS 5.0 以降、iPhone、iPad および iPod touch 対応。iPhone 5 用に最適化済み)を紹介します。価格は 300 円ですが、無料版も用意されています。無料版でも楽しめます。それを体験されてから、購入を検討してもいいでしょう。

画面をなぞると線路が書けます。直線を描くと電車が出て走り出し、端まで行くとバックして行ったり来たりします。○とか□とか一筆書きでうまく書き始めた地点に到達できると環状線のようにぐるぐる回って走ります。電車は、3D で見られる上、拡大したり、角度を変えて走る様子が見られます。電車の種類も多いので、たくさん楽しめます。音も軽快な BGM が流れ、電車の走行音も流れてくるのでなかなかの臨場感です。

YouTube で、『タッチトレイン 3D』で検索するとデモムービーが見られます。百聞は一見にしかず、ぜひ見てください！

(PT 岸野)



iTunes より掲載



iTunes より掲載



iTunes より掲載

ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。